

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	工業英語I、化学全般
教科書	Judy先生の耳から学ぶ科学英語(野口ジュディー著、講談社サイエンティフィック)
補助教材等	科学英語101(國安均著、化学同人)、やさしい化学英語(中村喜一郎、青柳忠克共著、オーム社)
学習上の留意点	
<p>予習および復習をすること。 復習の確認として、毎回の小テストを行う。また定期的にレポートを課す。 この教科は再試験を実施しないことから、小テストなど毎回しっかり勉強すること。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>工業英語はグローバル社会で他の人と専門内容を話しコミュニケーションをとるための重要な教科です。しっかり勉強して国際社会に通用する人材になっていきましょう。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 図表表現	基本的な図表表現を用いることができる。	第1回目の内容について復習を行う。
2	英文解釈I	自然科学に関する長文を読み解くことができる。	第1回目復習のための小テストを行う。 第2回目の内容の復習および第3回目の予習を行う。
3	科学用語の語尾 1	動詞、形容詞的に変化する科学用語の語尾について理解できる。	第2回目復習のための小テストを行う。 第3回目の内容の復習および第4回目の予習を行う。
4	科学用語の語尾 2	名詞的に変化する科学用語の語尾について理解できる。	第3回目復習のための小テストを行う。 第4回目の内容の復習および第5回目の予習を行う。
5	無機化合物の発音と表現法 1	無機化合物の発音と表現法が理解できる。	第4回目復習のための小テストを行う。 第5回目の内容の復習および章末問題の予習を行う。
6	元素名	元素名を理解できる。	第5回目復習のための小テストを行う。 第6回目の内容の復習および章末問題の予習を行う。
7	有機化合物の発音と表現法	有機化合物の発音と表現法が理解できる。	第6回目復習のための小テストを行う。これまで習った範囲をレポートとしてまとめる。
8	中間試験		
9	色の表現	色に関する英語表現が理解できる。	第9回目の内容の復習および第10回目の予習を行う。
10	形の表現	形に関する英語表現が理解できる。	第9回目復習のための小テストを行う。 第10回目の内容の復習および第11回目の予習を行う。
11	会話表現 1	会話表現が理解できる。	第10回目復習のための小テストを行う。 第11回目の内容の復習および第12回目の予習を行う。
12	単位の接頭語	単位の英語表現が理解できる。	第11回目復習のための小テストを行う。 第12回目の内容の復習および第13回目の予習を行う。
13	会話表現 2	相手に伝えるため（同意、許可など）の会話表現が理解できる。	第12回目復習のための小テストを行う。 第13回目の内容の復習および章末問題の予習を行う。
14	プレゼンテーションに関する表現	学会発表（スライド説明）に用いる英語表現が理解できる。	第13回目復習のための小テストを行う。これまで習った範囲をレポートとしてまとめる。
	学年末試験		
15	まとめ	試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。 また授業評価アンケートを行う。	
総学習時間数			45時間
講義			30時間
自学自習			15時間